

「国際協力ボランティアを知ろう」

国際協力機構(JICA)二本松青年海外協力隊訓練所の協力を得て、アジアやアフリカ諸国でのボランティア経験者や派遣前の訓練生との交流を通じ、国際協力ボランティアの役割や、草の根国際協力のありかたを考えます。二日目には、2011年の東日本大震災の被害を受けた福島県浪江町から避難して障がい者の方々の作業・生活訓練を通じた社会復帰・社会参加を支援しているNPO法人コーヒータイムを訪問し、私たちに何が出来るのか考えます。



日程

2017年**2月16日**(木)～**17日**(金)

2日間の
参加必須

場所

JICA二本松青年海外協力隊訓練所
(福島県二本松市永田字長坂4-2)

対象

本学学生(学部、大学院、留学生、研究生)約15名と
他女子大学学生約10名

参加
方法

グローバル協力センターまでメールで申し込み。
(<http://www.cf.ocha.ac.jp/event/e20170216.html> より申込書をダウンロードの上、info-cwed@cc.ocha.ac.jp までメールすること。)

募集
締切

2017年**1月30日**(月)必着

※但し、先着順受付とし、定員になり次第申し込みを締め切らせていただきます。

参加
費用

宿泊費・食費実費 (約3,500円)

問合せ先:お茶の水女子大学グローバル協力センター
Tel:03-5978-5546 E-Mail: info-cwed@cc.ocha.ac.jp



プログラム	
1日目	お茶の水女子大学から貸切バスで移動 二本松国際協力プラザ展示見学 青年海外協力隊の制度や実績に関する講義 JICAボランティア経験者(元青年海外協力隊員) による講義とディスカッション 派遣前の訓練生との意見交換
2日目	訓練体験参加(朝の集い) グループ・ミーティング NPO法人コーヒータイム訪問 お茶の水女子大学着

※NPO法人コーヒータイム

コーヒータイムは平成18年4月に小規模作業所として誕生し、障がい者に対して、作業・生活訓練を通して社会復帰・社会参加に関する事業を行い、障がい者の自立に寄与することを目的としています(平成20年5月27日認証)。浪江町で活動していましたが、東日本大震災により町全体が避難区域となり、利用者やスタッフは二本松市をはじめとして各地への避難を余儀なくされました。現在は二本松市に拠点を置き作業所と喫茶店を運営しています。